

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	白石区土木部維持管理課(864-8125) 建設局みどりの推進部みどりの管理課 (211-2536)
-----	-------	-----------	--

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①川下公園 ②北郷公園 ③豊平川緑地(下流地区)	所在地	①白石区川下2651番地3外 ②白石区北郷8条9丁目 ③豊平川堤外地
告示年月日	①平成7年3月31日 ②昭和52年3月31日 ③昭和43年7月1日	面積	①194,560㎡ ②47,454㎡ ③644,000㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	川下公園、北郷公園、豊平川緑地(下流地区)の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務、有料施設の運営等)		
主要施設	①リラク্সプラザ、野球場、テニスコート、パークゴルフ場 他 ②野球場、パークゴルフ場、テニスコート、ステージ 他 ③サッカー場、テニスコート、野球場、パークゴルフ場 他		
2 指定管理者			
名称	公園緑化協会・川下公園コンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会、横浜植木(株)北海道支店)		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数:3施設 複数施設を一括指定の場合、その理由: 当該施設群は全て公園または緑地施設であり、ほぼ全ての保守管理、修繕業務について共通化することでスケールメリットを活かした経費節減が可能であり、一括管理による効率性が著しいため、一括指定としたもの。		
業務の範囲	公園施設維持管理業務、有料施設の管理運営、ライラック文化の普及啓発業務、公園ボランティアに関する市民活動支援業務、施設の使用承認に関する業務、公園の利用促進に関する事業実施		
3 評価単位	施設数:3施設 複数施設を一括評価の場合、その理由: 管理施設は全て公園または緑地施設で、維持管理、施設内容に関しても類似性があり、また、有料スポーツ施設の利用受付についても、川下公園で一括して行っているため、各施設単位で評価したとしても差異が全く生じないことから、指定単位での一括評価とする。		

II 令和5年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>《理念》 私たちは、札幌市民との相互信頼を基に、みどりを通じて心豊かな札幌の実現と次代への継承に貢献します。</p> <p>《運営方針》 理念の達成のため、5つの方針(公平、公開、効率、協働、環境)を柱に時代やニーズに即し、公園の価値を高め指定管理者として市民の満足度向上に努めます。</p> <p>《基本方針》 1. 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 2. 関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。 3. 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 4. コミュニティ活動の拠点の一つと位置づけ、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。 5. 東洋一を誇るライラックの森の価値を向上させ、「ライラック文化」の発信・普及を行う。 6. リラックスプラザを中心に、屋外・屋内の運動施設を連携させ、幅広い層の心身の元気回復と健康づくりの場としての価値を高める。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>「公共施設としての公園・緑地に来られるお客様の第一の期待は、公園・緑地の平等・公平利用であると考え、お客様の期待以上の満足を持ち帰っていただくことを基本に、公園・緑地の平等利用確保の取り組みを行う」との方針を策定した。</p> <p>方針に沿って、「利用者の平等・公平な利用機会の確保にあたり、研修、指導、啓発等を徹底し、全スタッフの意識を高める」ことに取り組み、不法行為防止の啓発指導、ホームページ等による新鮮な情報提供、コンプライアンス研修等を行いスタッフの能力及び意識の啓発を図った結果、年間のアンケート調査では、接客満足度89.0%、総合満足度90.4%となった。</p>	<p>公園の管理運営を通じてライラックを中心とした公園の魅力を高め、リラックスプラザを地域に根付いた健康増進施設としての役目を果たしながら、理念・運営方針・6つの基本方針に則り管理運営に努めた。</p> <p>情報発信、研修、指導、啓発等を積極的に実施しており、アンケート調査の結果においては、接客・総合満足度ともに札幌市要求水準を大幅に達することができ良好な接客及び、公園管理ができた。</p>	A	B	C	D
			業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。			

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出するとともに、公益財団法人札幌市公園緑化協会が運用する環境マネジメントシステムに則した管理運営を行った。
- ▼ 事務用品の購入については、グリーン購入ガイドライン指定品の購入を従来から継続して行っている。
- ▼ スタッフに対して年1回、4月に環境マネジメント研修を実施した。
- ▼ 使用量の大きいリラックスプラザのボイラー用燃料については、平成22年度以降、A重油からエコ重油に転換しており、地球温暖化ガス(二酸化炭素)排出量の大幅削減につながっている。
- ▼ 家庭用廃食油の回収ボックスをリラックスプラザ玄関内風除室に常時設置し、家庭からの廃食油回収を常時行った。
- ▼ 車両を使用する際は、アイドリングストップを励行し、EMSの目的・目標を遵守し、環境に配慮した管理運営に取り組んでいる。
- ▼ 剪定枝、花がら、落葉等の植物残渣をリサイクルし維持管理資材として園内に還元している。
- ▼ リラックスプラザの効率的な運営を図るべく、閉館時間を試行的に2時間早め、重油、電気、水道使用量を大幅に削減した。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 統括責任者、統括責任者代理を配置した。
- ▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を適切に定めた。
- ▼ 仕様書のとおり職員を配置した。また、令和5年度に向けた臨時職員欠員補充は令和5年2月に採用試験を行い、1名を採用するほか、5月は新たに1名を採用した。
- ▼ 研修計画に基づき、接遇試験の受験や安全衛生教育等を実施した。
- ▼ 各所定機関に対して労働関係法令に則った申請・報告書を届け出るとともに、スタッフが安心して働くことのできる雇用環境を確保するほか、年1回職員の健康診断を行った。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

教育訓練、安全講習、造園緑化技術の習得・向上教育等を行い、スタッフのスキル向上を図るとともに、アンケート調査の実施及び分析を行い、利用者ニーズを把握した改善を行った。事故や怪我、苦情については報告書・対応票を作成し、組織全体で即時に情報共有することにより、類似の事故や苦情発生の予防に役立てている。

EMS(環境マネジメントシステム)の職員研修を年度初めに行い、全職員が環境に配慮した公園管理への意識を共有するとともに、ボイラー用Bio重油の使用、園内発生植物残渣のリサイクルや自主イベントでの環境教育の啓発、ゴミの減量化、電気使用量の節約に努め、EMSを適正運用して、環境に配慮した公園管理を行うことができた。

また、試行的に実施したリラックスプラザの時短営業で効率的に重油、電気、水道使用量を大幅に削減し、環境負荷低減を図ることができた。

新年度開始時には、職員研修を実施するほか、消防訓練、個人情報取り扱い研修など、公園スタッフ全体で教育訓練を実施した。

また、川下公園特有のプール衛生管理者資格を職員に取得させた。

スタッフのスキルアップを行うとともに、利用者のニーズ・意見を改善に繋げた。また、組織内での情報共有により、適切な対応ができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

リラックスプラザ設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理、排煙設備等建築設備点検等の点検については、指定管理者の直営作業では技術的・効率的な対応が困難であることから、事前に札幌市より承認をいただいた上で専門業者に対する委託を行い、適正な業務遂行を実施した。

実施状況の通り、計画に沿って適正に発注・履行確認を実施した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催日	協議・報告内容
3月13日	管理運営に関する経過報告及び利用者からの要望、施設修繕、次年度の計画等について札幌市と協議
<協議会メンバー>	
白石区土木部維持管理課 公園緑化係長、公園緑化係担当職員、事務係長、事務係担当職員 建設局みどりの推進部みどりの管理課 公園維持係長、公園維持担当職員、公園管理係長、公園管理係担当職員 公益財団法人札幌市公園緑化協会 担当課長、担当職員2名、横浜植木(株)北海道支店長、担当社員1名	

実施状況の通り開催し、今後の課題の共通認識を図るとともに、次年度の管理運営スケジュールについて協議することができた。

▼ 川下公園利活用協議会の開催状況は下表のとおり

開催日	協議・報告内容
3月12日	公園運営・事業実施、利用状況や発生事故等の報告、浴室プールに係る利活用について
<協議会メンバー>	
北東白石連合町内会、北東白石地区青少年育成委員会、北東白石体育振興会、川北小学校、東川下小学校、北都小学校、北都中学校、北海道立白石高校、川北児童会館、北東白石まちづくりセンター、公益財団法人札幌市公園緑化協会川下公園管理事務所	

川下公園の活動・利用状況を説明した。特に、今後のリラックスプラザ内浴室プールの利活用について協議会メンバーから要望・意見を聞き入れ、次年度以降、運営に反映させる予定である。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。 ▼ 当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。 ▼ 現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。 <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>川下公園: 施設管理の要望0件、苦情3件 北郷公園: 施設管理の要望0件、苦情0件 豊平川緑地: 施設管理の要望0件、苦情0件</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 要望・苦情対応については、親切丁寧かつ迅速に対応し、経過・処置を含めスタッフ間、指定管理者代表本部、札幌市への情報共有ができる体制を整えている。 <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 札幌市の業務検査を受け、適切に対応した。 ▼ アンケートは自主事業の参加者を中心に実施し、集計結果はスタッフで共有するとともに、要望、意見を管理運営に反映させている。 ▼ 要望、意見については、リラク্সプラザ内にアンケートボックスを設置し、管理運営に反映させた。 ▼ 月毎、四半期毎、年度での札幌市への報告は、マネージャーによるセルフモニタリングを記載して報告を行った。 	<p>不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。不正経理等はなく問題はない。</p> <p>いずれの苦情に対しても可能な限り迅速に対応したことで大きなトラブルにならず、適切な対応が出来た。引き続き、迅速かつ、真摯な利用者対応に努め、今後の管理運営に活かしたい。</p> <p>札幌市への報告等は遅延なく提出し、検査、照会なども適切に対応した。</p>
--	---	--

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金960円(令和5年10月1日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園の担当課長がリモートワーク等により出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 <p>▼当財団では、正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した結果、非正規職員4名を正規職員に内定した。</p>	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 事故等の発生時に対応するため、緊急連絡体制の確保、消防訓練、災害時の訓練、浴室等の汚物発生時の対応マニュアル化等を実施し利用者の安全確保に努めた。 ▼ 拾得物取り扱いについては遺失物法に沿ったマニュアルに則り処理・対応をすると共に道警会計課へ特例施設占有者の申請を行い、サービス向上に努めた。 ▼ 損害賠償責任保険は仕様に適合したものに加入した。 また、保険加入の必要な自主事業実施時には、参加者から傷害保険料を支出してもらい対応した。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ ライラックの森内に宿根草や一年草でハンギングバスケット等を用いた写真スポットなどを設置するなど、景観向上に努めたところ利用者からは大変好評であった。また、昨年に引き続き野球場駐車場植樹樹やリラックスプラザアプローチ階段横の花壇に宿根草を新規に植栽し、公園内の花修景向上や維持管理作業軽減に努めている。 ▼ ライラックの品種管理については定期的に養生室・ミスト室の修繕及び整備を行うほか、挿し木によって苗木増殖に取り組んだ。 ▼ 芝生管理については概ね園内の芝生は生育旺盛だがパークゴルフ場内の一部に踏圧による傷みがあるため、目土や播種、10月にはエアレーションを実施し、維持管理に努めた。 ▼ 桜の杜及びバラ花壇には引続きウッドチップによるマルチングを行うことで、生育環境の改善に取り組んでいるほか、防草効果による作業効率化を図った。 ▼ 臨時駐車場と樹林地の境界に植栽されているモンタナ松の枯損木が増えたため撤去した。新規にウツギ及びレンギョウ等の低木を植栽し、景観維持に努めている。 ▼ リラックスプラザの屋根が経年劣化による腐食が著しく、可能な限り屋根部をシーリングするほか、降雨の時には度々雨漏りが発生するがプラチエーン等で雨漏り箇所を区切る等の対策をし、利用者の安全確保に努めた。 ▼ 7/1～8/31カネール・噴水(壁泉は7/16～8/25)を仕様書通り、運転したが期間中は清掃及び点検を行い、特に大きな事故もなく運用できた。 ▼ 11/27～12/11までの年次整備期間中、貯湯槽清掃消毒、熱交換器洗浄整備、浴室内壁洗浄・消毒、浴室天井再塗装、プールコーキングなど、日常保守点検では行えない特別作業を実施した。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 消防訓練等の防災計画を策定するとともに、12月、3月に消防訓練を実施した。また、専門点検時に次年度以降、消防ホースや消火器の更新が必要となり札幌市に更新の依頼を行った。 	<p>作業時の利用者への安全対策は、安全作業講習で指示、指導を行い作業による大きな労災事故の発生はなかった。 利用者の安全を最優先に考えスタッフへの安全教育を徹底した。過年度、及び他現場での事故事例を検証し再発防止に努めた。 各施設間の連携は取れており緊急時の対応もスムーズに行うことができた。</p> <p>公園・緑地の維持管理については状況に応じ、適切な管理ができた。 当公園の最大の魅力の一つであるライラックを中心に、園内全体の緑化における景観向上を図ることができた。</p> <p>公園設備の老朽化が激しく突発的な修繕が多くなっているが、予備部品等を事前に用意しておくことで、利用者サービス低下を最小限に留め管理できた。 また、事故に繋がりがかねない要因は巡視点検を実施することで未然に防ぐことができた。</p> <p>防災訓練は計画通りに実施し、スタッフのスキルアップを図ることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。コロナ禍を経て、利用者の安全を最優先に考えた対応は評価できる。公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。コロナ禍を経て、利用者の安全を最優先に考えた対応は評価できる。公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。			
A	B	C	D								
業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。コロナ禍を経て、利用者の安全を最優先に考えた対応は評価できる。公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。											

(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ 受付・接客業務のレベルアップ</p> <p>▼ スタッフへの苦情・要望等の情報を共有し、接客対応の向上を図った。また、利用者アンケート調査による接客満足度は89.0%であり、札幌市要求水準を満たすことができた。</p> <p>▽ 協働・協力団体との連携</p> <p>▼ ボランティア活動 ・川下公園ボランティア「りらら」 ライラックの花がら摘み、剪定、挿し木を実施した。 登録者数:1人</p> <p>▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>▼ 白石消防署北東白石地区消防団による消防訓練への協力や、北東白石まちづくりセンターによる風揚げ会への協力、北東白石地区青少年育成委員会による「雪あそびフェスティバル」においてテントの貸し出し、雪山作り、雪上ラフティングボートの実施など、地域活動への支援を積極的に行った。また、白石区市民部地域振興課からの、白石区と地域パートナーシップ協定を締結している「白石区ふるさと会」の活動の一環として、毎年参加している「白石こころ一どにおける環境美化活動」では、5月と11月に白石サイクリングロードの清掃奉仕活動を実施した。</p> <p>▽ 近隣小中学校に関する学習機会の提供業務</p> <p>▼ 白石区ふるさと会による学生の職業体験「白石でっち奉公」を受け入れ、地域との連携を図ることができた。なお、昨年度は午前、午後に分けて短時間で実施していたが、今年度は1日を通しての活動となったため、延べ活動人数が減少している。 ・白石区ふるさと会「白石でっち奉公」中学生受け入れ 延べ活動日数:5日 延べ活動人数:21人</p> <p>▼ 近隣の川北小学校や日章中学校から総合学習への協力依頼を受け、川下公園職員より子どもたちからの公園や植物についての疑問について丁寧に回答し、地域の子どもたちへの環境教育に努めた。</p>	<p>他公園での苦情等を周知・共有し、接客・対応で同様のトラブル発生の抑制を図っている。</p> <p>川下公園ボランティア「りらら」の登録者は高齢であり、活動も少なくなっている。活動を継続していくことで少しずつでも参加者の獲得に繋げていきたい。</p> <p>白石でっち奉公の受入により、毎年多くの生徒に公園の存在意義と実務を学ぶ機会を提供することができ、地域との効果的な連携を図ることができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	A	B	C	D
	A	B	C	D			
<p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。</p>							

<p>▽ さっぽろライラックまつりの開催</p> <p>▼ 「第65回さっぽろライラックまつり」は、新型コロナウイルスによる制限もほぼなくなり、近隣の学校の吹奏楽部などを招いて、ライラックの森でのコンサートを新たに開催し、大変好評であった。また、昨年に引き続きハンギングバスケットやコンテナ花壇を用いた装飾を更に強化し、来場者にライラックをはじめとした花の魅力を発信することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっぽろライラックまつり参加実績: 約9,600人 <p>▽ ライラックに関する相談業務</p> <p>▼ ライラックまつり大通会場及び川下会場にて、ライラックの相談会を実施したほか、電話等での相談にも対応した。</p> <p>▽ 水中健康教室の開催</p> <p>▼ コロナ禍を経て、5月から毎週木曜日の週1回で再開した水中健康教室は、心待ちにしていた受講者の方に多く参加いただき、健康増進のための一助となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水中健康教室参加者数: 延べ378人 <p>▽ フリースタイルダンス教室の開催</p> <p>▼ これまでの活動実績から、教室の評判も定着し、未就学児も含め年々参加者も増加傾向にあり、次年度は更なる参加者増に期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースタイルダンス教室参加者数: 延べ753人 <p>▽ PG大会の開催</p> <p>▼ 令和5年度は6月21日に「第10回ふれあいドキドキパークゴルフ大会」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいドキドキパークゴルフ大会参加者数: 36人 <p>▽ ネイチャークラフト講座の開催</p> <p>▼ 12月17日にクリスマスリボン飾りを作るクラフト講座、2月11日に木の実を使って自由にリースを作るクラフト講座をそれぞれ実施し、自然の材料を使ったクラフト講座として好評だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスリボン飾り作り参加者数計: 19人 ・木の実のリース作り参加者数計: 15人 <p>▽ 川下公園ラフティングボートの開催</p> <p>▼ 冬のアクティビティ充実と利用者ニーズに応えるため、川下公園ラフティングボートを1月6～8日の3日間で予定していたが、積雪不足により6日と7日は中止とし、8日のみ開催とした。そこで川下公園ラフティングポート2として2月10日～25日の期間中の土・日・祝日に再度開催し、多くの参加者に楽しんでいただくことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川下公園ラフティングポート参加者数: 45人 ・川下公園ラフティングポート2参加者数: 243人 <p>▽ 雪とあそぼうin川下公園の開催</p> <p>▼ 冬季のイベントとして例年ウインターフェスティバルを開催していたが、今年度より「雪とあそぼうin川下公園」と題し、より身近に冬ならではの遊びを楽しんでいただけるよう、屋外ではスノーラフティングポートや雪中めいろなど、リラックスプラザ館内ではバスボム作り体験を行い、市民に川下公園の冬を味わっていただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪とあそぼうin川下公園参加実績: 1,111人 	<p>ライラックまつりは、見頃を迎えたライラックを観賞するため、多くの来場者を迎えることとなった。ライラックの無料配布には長い列ができ、またライラックの苗木を買い求める市民もとても多く、川下公園のライラックが市民・観光客に浸透していることが感じられた。</p> <p>計画した自主事業の結果は実施状況のとおり、多くの参加者に満足していただけた。</p> <p>特にフリースタイルダンス教室は、受講者や保護者からも反響が良く、口コミで受講者が増加している。ようやく自主事業がコロナ禍前の参加者数に近づき、次年度は更にコロナ禍以前またはそれ以上に増加するよう広報にも力を入れたい。</p> <p>また、気候の変化や社会情勢に素早く対応できる体制を整え、地域一体となった公園の活性化に努めたい。</p>
---	--

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績
浴室・プール (川下)	件数(件)	33,608	-	34,530
	人数(人)	33,608	-	34,530
	稼働率(%)	-	-	-
野球場 (川下)	件数(件)	233	-	255
	人数(人)	10,190	-	11,624
	稼働率(%)	23.8	-	26.4
庭球場 (川下)	件数(件)	1,480	-	1,487
	人数(人)	10,737	-	11,885
	稼働率(%)	32.9	-	34.7
パークゴルフ場 (川下)	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	6,685	-	4,916
	稼働率(%)	-	-	-
サッカー場 (米里)	件数(件)	538	-	386
	人数(人)	29,967	-	29,307
	稼働率(%)	17.3	-	14.9
野球場 (北郷)	件数(件)	198	-	178
	人数(人)	6,100	-	6,836
	稼働率(%)	18.4	-	19.0

今年度のプール・浴室利用者数は、各月の変動が大きく、結果として前年度比102.7%とほぼ横ばいとなったが夏期は非常に利用者が多く大盛況であった。有料運動施設においては、野球場(川下)、庭球場は、コロナ禍からの回復の兆しが徐々に表れ件数、利用人数共に増加した。パークゴルフ場は、猛暑の影響を受け利用者数が大きく減少した。夏場以降、暑さによる芝ダメージと利用者回復のためコースコンディション維持に努めた。

A	B	C	D
コロナ禍からの回復の兆しが見え、夏期利用者の増加傾向は望ましいと考える。施設の安全・安心な利用環境を整え、円滑な施設運営に努めたことは評価する。			

▽ 不承認、取消し、減免、還付

- ▼不承認 0件
- ▼取消し 0件
- ▼減免 93件
 - 川下公園テニスコート 11件
 - 川下公園野球場 82件
 - 豊平川緑地サッカー場 0件
 - 北郷公園野球場 0件
- ▼還付 69件
 - 川下公園テニスコート 30件
 - 川下公園野球場 7件
 - 豊平川緑地サッカー場 17件
 - 北郷公園野球場 10件
 - 北郷公園野球場照明 5件

	<p>▽ 利用促進の取組</p> <p>【プール・浴室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族割引実施 ・敬老の日(9月18日)は高齢者料金(65歳以上)を無料とした ・浴室、プールレンタル品の貸出(水泳帽、ビート板等) <p>【パークゴルフ場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川下1日券実施 ・パークゴルフ・浴室共通券実施 ・家族割引実施 ・敬老の日(9月18日)は高齢者料金(65歳以上)を無料とした ・スポーツの日(10月9日)は利用料金を無料とした ・クラブ・ボールの洗い場を設置 ・レンタルクラブ貸出 <p>【川下公園・北郷公園野球場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定ベースを設置 ・グラウンド整備道具の増設 <p>【川下公園テニスコート・野球場、北郷公園野球場、米里サッカー場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの日(10月9日)は利用料金を無料とした ・レンタルテニスラケット貸出 	<p>今後も利用者のニーズに応え、且つ、利用促進に繋がるような利用券発行、運動用器具貸出しサービス等について検討し実施したい。</p>									
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。</p> <p>ホームページ閲覧数</p> <ul style="list-style-type: none"> ①川下公園 331,259件(昨年度比 113.7%) ②北郷公園 8,943件(昨年度比 106.2%) ③豊平川緑地 12,305件(昨年度比 91.0%) <p>・メールフォームの活用</p> <p>公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。</p> <p>▼ 自主事業の広報チラシ・ポスターを作成した際は、連携する公共施設窓口、町内会、近隣学校関係、観光案内所等に配布するとともに、マスメディアへの投げ込みも行い、集客を図った。</p> <p>▼ さっぽろライラックまつりの広報は、札幌市観光企画課、一般社団法人札幌観光協会と連携し、大通会場と連携した広報活動を行った。</p> <p>▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和6年3月13日に公開した。</p> <p>▼ リラックスプラザ浴室プールの利活用のため、近隣老人ホーム、社会福祉行議会、近隣小学校に営業活動を行いパンフレットの配布を行った。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>広報業務は、広報さっぽろをはじめ、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディアなどの媒体を活用した。</p> <p>ホームページのリアルタイムな情報発信は、コロナ禍での市民の情報取得手段として有効であったことから、以降も引き続き力を入れて行ったことで、市民サービスの向上に繋がった。川下公園および北郷公園のホームページ閲覧数は前年度を上回っており、市民の関心度の高さも窺えた。</p> <p>また、浴室プールの営業活動を行い、更なる利活用の促進を図った。</p> <p>今後もこまめに情報発信することで公園利活用の活性化とサービスの向上につなげたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。HPの情報更新が適時・適切になされており、情報提供ツールとして有効に機能している。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。HPの情報更新が適時・適切になされており、情報提供ツールとして有効に機能している。			
A	B	C	D								
業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。HPの情報更新が適時・適切になされており、情報提供ツールとして有効に機能している。											

2 自主事業その他

▽ 自主事業

- ▼ ライラックまつりin川下公園を開催したほか、コロナ禍の影響により開催を見送ってきた自主事業を感染対策を講じながら実施することが出来た。
- ▼ レストラン(リラパーク、臨時売店)、自販機手数料事業
売上高3,317千円
- ▼ イベント事業(ダンススクール等)
売上高890千円
- ▼ 売店事業(リラックスプラザ受付、プール・浴室受付、パークゴルフ受付)
売上高1,824千円
- ▼ 施設事業収入(水中健康教室)
売上高230千円
- ▼ その他収入(広告収入・振替収入)
売上高0円

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

- ▼ リラックスプラザの設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理についての第三者委託は市内企業に発注した。
- ▼ 浴室・プール用の水中車椅子2台を常備している。
- ▼ 障がい者用駐車スペースを確保した。
- ▼ 冬期間駐車場での転倒防止のため、砂・凍結防止剤の散布を行った。
- ▼ 公園・緑地のバリアフリー情報をホームページで公開した。

パークゴルフ大会や各種講座、ダンス教室を実施し、積極的に公園の利活用につなげることができたほか、ピクニック広場に自販機を新たに設置し利用者サービスを向上し、増収を図れた。

また、高齢の受講者が多く開催を見送ってきた水中健康教室を再開したことで、利用者の期待に応えると共に増収につなげることが出来た。

今後においても、利用促進につながる新たな取り組みを模索し積極的に実施していきたい。

委託業者はすべて市内企業のみを活用した。

物品・資材等の購入は、市内企業を積極的に活用した。概ね計画通り実施できた。

ライラックまつり開催時に障がい者支援団体が印刷したポストカードをクイズラリーの景品とするため業務発注を行った。

A	B	C	D
コロナ禍を経て、各種事業が増収になったことは望ましいものと考えられる。			

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

		A	B	C	D
実施方法	川下公園(自主事業:ネイチャークラフト講座含む)利用者に対してアンケートを4回実施し、273人から回答を得た。	<p>川下公園スタッフの接遇に関する称賛の意見が多く、満足度が90.4%となった。コロナ禍を経て、利用者と直接会話する場面も増えたが、スタッフ内の情報交換や接遇研修等の成果が現れた結果となった。今後も多くの利用者に満足していただけの施設になるよう、スタッフの意識を高めていきたい。</p> <p>総合満足度・接客満足度ともに、要求水準を上回っており、適切と判断する。要望・苦情については、親切・丁寧かつ迅速に対応している。</p>			
結果概要	<p>総合的な満足度は、要求水準70%に対し90.4%となり、20ポイント以上上回る結果となった。</p> <p>・接遇に関する満足度は要求水準80%に対し89.0%となった。</p> <p>・来園目的としては、「子どもの遊び」が42.5%と多く、次いで「イベントに参加するため」が36.3%となった。</p> <p>・公園情報の入手方法は、「公式ホームページ」が20.9%と一番多く、続いて「知人・家族から聞いて」が20.5%と多かった。</p> <p>・利用者の来場地は、白石区が33.0%と圧倒的に多く、次いで厚別区が11%、中央区・東区が8%程度となった。</p> <p>・来場者構成では、家族とが77.3%と大半を占めた。</p>				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【意見・要望等】</p> <p>「職員にとっても親切にもらった」、「ライラックまつりでのかわいい撮影スポットが増えて嬉しい」などの称賛の意見や、「ライラックのまつりの川下会場は市民にあまり知られていないのでは」、「室内遊具を拡充してほしい」などの意見・要望があった。</p> <p>【対応等】</p> <p>今後も来園者に楽しんでいただける工夫をし、積極的な広報活動を展開していくとともに、市民の声に耳を傾けていけるようアンケート活動にも力を入れたい。</p>				

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)
収入	178,852	176,644	▲ 2,208
指定管理業務収入	173,242	169,084	▲ 4,158
指定管理費	156,217	153,566	▲ 2,651
利用料金	17,025	15,405	▲ 1,620
その他		113	113
自主事業収入	5,610	7,560	1,950
支出	178,283	180,289	2,006
指定管理業務支出	176,828	176,466	▲ 362
自主事業支出	1,455	3,823	2,368
収入-支出	569	▲ 3,645	▲ 4,214
利益還元	0	0	0
法人税等	569	327	▲ 242
純利益	0	▲ 3,972	▲ 3,972

▽ 説明

- ▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定書の改定協定書」による7,451千円の減額、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書(電気料金)」による4,800千円の増額があり、合計2,651千円の減となった。
- ▼ 利用料金収入は、コロナ収束後も回復せず、施設利用が低調となったため、計画より1,620千円の減となった。
- ▼ 自主事業収入は、売店収入や手数料収入が増加し、計画より1,950千円の増となった。
- ▼ 指定管理業務支出は、リラックスプラザ時間短縮営業があったものの、重油単価上昇の補填がなく、362千円の減にとどまった。
- ▼ 自主事業支出は、事務局経費等の増加のため、計画より2,368千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、協会全体として収益の約半分を公益事業に繰り入れている。

収入については、時短営業を行ったが、浴室プールの利用料金収入はR4年度を上回る結果となった。大きな要因としては夏期に猛暑があったことでプール利用者が例年より多かったことが挙げられる。一方、サッカー場の大口団体の利用が少なくなったことやパークゴルフ場の利用人口が減少しているため、利用料金が減収している。売店収入などでは、ライラックの売り上げが好調で、毎年絶えずライラックを普及啓発していると感じ出ている。次年度以降は更なる利用促進事業を強化し増収を図りたい。

A	B	C	D
利用料金収入の伸び悩みを、今後の利用促進事業の進捗により計画数値達成することを期待したい。自主事業はライラック苗木販売の売上げが好調であったことを評価したい。今後もさらなる販売拡大等に繋げてもらうことを期待する。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

- ▼当コンソーシアムの代表団体である札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和5年度、赤字決算となり、運営安定化積立資産も取り崩すこととなった。次年度以降、なお一層の経費削減が求められるものの、自主事業の好調を引き続き継続し、経営能力の安定化を図っていく。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題は無い。

適	不適

適	不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

- ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。
- ▼情報公開請求はなかった。
- ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。
- ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。
- ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>【川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)】 川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)の管理運営に関して、コロナ禍の影響も少なくなっている中、公園利用者の動向を注視し、ライラックまつりなどの大規模イベントを実施し、市民サービスの向上を図った。 また、リラックスプラザの効率的な運営を行うため、試験的に時短営業を実施し、光熱水費や人件費削減に取り組んだ。 その他、川下公園利活用協議会を3月に開催し、近隣小中学校や町内会などからリラックスプラザの今後のあり方など意見・要望を聞くなど、次年度以降に、リラックスプラザの利活用をさらに促進するための話し合いを行った。</p> <p>▼川下公園 ▽緑地管理においては、前例がないほど雪解けが早く、年度初め早々に作業に追われたが、芝刈りなど適時実施し公園の景観を整えることができた。 ライラック管理では、矮性品種の挿し木を重点に品種管理を実施し、前年度重要取組事項であった、更なる普及啓発のための増産体制の基盤作りに取り組んだ。 また、ライラックやバラがメインの花修景の川下公園であるが、ハンギングバスケットやオリジナルコンテナ花壇を作成し写真スポットにすることで多くの市民が記念撮影を行い、緑地を楽しむ様子が各所で見られ、大変好評であった。 ▽施設管理においては、昨年度に引き続きトイレに異物を捨てられ配管が閉塞することが多かったが、適時配管清掃を実施し、利用者に不便をかけることなく対応できた。 リラックスプラザ管理では計画的に循環ポンプや吸排気ファンのオーバーホールを行い、主要施設の浴室プール利用者に迷惑を掛けることなく円滑に管理できた。 年次整備では、浴室の防カビ塗装やプールの目地補修など実施するほか専門業者による配管洗浄を行った。 また、熱交換器洗浄を実施し、熱交換率を向上させることで、重油の削減や環境負荷軽減に繋がるように管理できた。 ▽リラックスプラザを効率的に運営するため21時閉館から19時閉館に時短営業を実施したところ、水道・電気・重油使用量が大幅に削減できたほか、人件費の削減にもつながった。利用者からは時短営業による大きな不満の声もなく一定の効果は得れた。</p> <p>▼北郷公園 ▽緑地管理においては、概ね作業工程通り実施できた。また、屋外公衆トイレも適時実施し、利用者に不快感を与えることなく管理できた。 ▽近年、近隣住民から、夜間・早朝のバスケットコート騒音の苦情が度々問題となったが、今年度はなかった。しかし、トイレの放火など悪質な悪戯があり、施設の修繕など適切に行なった。 ▽今年度の重点取組事項であった、路上駐車に対する強化については、駐車禁止コーンの設置や、野球場予約者に電話での呼びかけをしたところ、目立った路上駐車もなくマナー向上を図ることができた。</p>	<p>【川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)】 コロナ禍の影響が少なくなったことで利用者のニーズや運営方法のあり方など徐々に変化しつつあり、臨機応変に対応する必要がある。特に、リラックスプラザの運営に関してはコストや利用者の動向を考慮し、新たな利用者サービスや効率的な運営方法導入の検討の時期にあるため、市民サービス向上を図りながら、安定した集客ができるように運営したい。</p> <p>▼川下公園 ▽ライラックの森周辺の柵が老朽化している。全てを修繕するとなると費用も多大になるため計画的に修繕したい。 ▽施設管理においては、園路の平板の割れ、目地抜けが目立つ状況である。特に壁泉付近は人通りも多く、集中的に修繕したい。 ▽3月に開催された川下公園利活用協議会では、運動施設とお風呂のセットプランなどの意見要望等があった。次年度は協議会の意見・要望を集約し、浴室プールに関する新たな市民サービスを導入するなど、リラックスプラザの利活用に繋げたい。</p> <p>▼北郷公園 ▽野球場やパークゴルフ場などの利用者が路上駐車をする様子が度々見られ、近隣住民の迷惑になっていることから、次年度も引き続き、野球場利用者には電話にて利用案内をするほか、巡視点検の強化などで対策したい。 ▽ゲリラ豪雨で公園周辺が冠水することがあるため、大雨時は集水桝の点検をするなどの安全管理を強化したい。</p>

<p>▼豊平川緑地(下流地区)</p> <p>▽計画及び緑地内の状況に応じて、計画業務実績表のとおり作業を実施し、概ね計画通り管理作業を行うことができた。</p> <p>▽市内の堆雪場になったことを受け、雪解け後は道路のひび割れや損傷箇所について、適時、関係者と連絡を取り補修を依頼することで、躓きによる転倒や、車の事故は発生していない。</p> <p>▽大雨時は、事前に米里サッカー場の雨水柵を開放し円滑に排水できるようにし、雨天後のプレーに極力支障の無いように対応できた。</p> <p>▽今年度の重点取組事項の有料サッカー場駐車場の樹木剪定を実施したことで、樹木に被圧されていた駐車場を広く使うことができるようになった。</p>	<p>▼豊平川緑地(下流地区)</p> <p>▽ベンチや遊具など老朽化が目立っているため、遊具点検で危険と判断され、修繕が困難なベンチ等については撤去等で対応したい。</p> <p>▽緑地・駐車場で焼肉、ドローン、ラジコン、スケートボードをするなどマナー違反の利用者が年々目立っている印象を受けている、定期的に巡視点検し対応したい。</p>
---	--

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス禍を経て施設利用や各種自主事業の実施がほぼ通常に行われており、そのうえで利用者の安全面に最大限配慮し出来得る対応をしっかりと行ったことで、利用者の満足度を高めることができた。以上のことから、適切な維持管理がなされたものと評価する。</p>	<p>改善指導を行う点は特にないが、引き続き施設の老朽化を考慮した適切な維持管理や中長期的な視点も踏まえた適切な緑地管理をお願いしたい。特に日々の安全管理について利用者の視点に立ち先行して改善を行うようお願いしたい。具体的には川下公園は、広い芝生広場など現況を生かせる事業を行って市民に親しまれる公園を目指してほしい。北郷公園は古く使い勝手の悪い施設など工夫して対応してほしい。また、自主事業の実施、来園者に好評なライラック苗木販売など、引き続き今後の収入増が見込まれる分野を開拓し、利益還元に繋げてもらうことを期待したい。</p>